平成１８年度中間評価結果（平成19年3月）

［研究開発課題名］ **生体ボリュームデータに基づくネットワーク型VR手術手技教育訓練システム**
［委 託 機 関 名］ **三菱プレシジョン株式会社**

項目	評価ランク	所見	再評価ランク	再所見
総合所見	A	（技術：研究を成功させるためのポイント、その他特記事項等についての総合的な所見） 医療技術が高度化するにつれ、本研究で実現を目指す手術訓練システムの重要性は今後益々増すことが予想され、本研究課題は社会的要請に良く合致した内容となっている。研究課題として計画された３つのサブテーマについては、具体的な数値目標として設定された中間目標を計画通り達成しており、高く評価できる。一方、現段階で実現された部分は、個々の事例に対する手術シミュレーションであるミッションリハーサルのレベルには達しておらず、技術的には既に実用化・利用されている複数の他社競合システムとほぼ同じレベルに留まっている。しかもプロトタイプシステムが開発された段階に過ぎない。従って、後半の研究実施にあたっては、競合システムに対する優位性を明確にするためにも、最終的な開発目標である「ミッションリハーサル」のプロトタイプシステムに必要な機能を慎重に取捨選択し、研究期間内に実現および提示できるように努めるとともに、それに沿った研究計画に見直すことが望ましい。	－	（技術）
		（事業化：事業化のシナリオ、波及効果の見込、収益の可能性等に関する総合的所見） 専門医の教育や医療安全、医療事故の解析、新医療技術の研究開発、医療安全情報の発信などを目的として●●●●●●●に建設が●●されている「●●●●●●●●●●」へ導入される、専門医教育・訓練のための「教育・訓練用手術シミュレーション装置Ⅰ（専門医教育）」の事業化を中心として、同装置とネットワーク接続され、学生や研修医の教育・訓練のための「教育・訓練用手術シミュレーション装置Ⅱ（学生・研修医教育）」、そして、患者固有の手術シミュレーションを実現する「術前計画用手術シミュレーション装置」の3製品についての事業化計画である。 「教育・訓練用手術シミュレーション装置Ⅰ（専門医教育）」が「●●●●●●●●●●」へ導入されることで、同装置とネットワーク接続される「教育・訓練用手術シミュレーション装置Ⅱ（学生・研修医教育）」に対しても販売促進効果があり、一定の売上が期待される。		（事業化）

（注）総合所見の公表にあたっては、企業秘密等に配慮しています。